

# 株式会社 悠心

〒955-0002 新潟県三条市柳川新田 964 番地 代表者名：二瀬 克規

電話番号：0256-39-7007 FAX：0256-39-7008

E-mail：yushin@dangan-v.com URL：http://dangan-v.com

設立年月日：平成 19 年 7 月 従業員数：15 人 資本金額：9,360 万円

業種：包装・荷造機械製造業 得意分野等：高速液体充填機的设计・開発

## 汎用性を高めた鮮度保持容器および生産機の開発

**目的** 鮮度保持容器 PID の使い勝手の向上およびデザイン設計の自由度を高め、販路の拡大を目指す。

### 事業取組みの経緯

食品業界において、容器による鮮度保持の重要性は年々高まっている。弊社が開発した鮮度保持容器 PID はその先駆けであるヤマサ醤油(株)の『鮮度の一滴』に採用されたが、注ぎ口が容器の側面から突出した独自の形状であるため外観やデザインの自由度が低い。さらに他業界への参入を考えた際に、『鮮度の一滴』のイメージが強いためにオリジナリティが出しにくいことが障壁となっている。

また、注ぎ口の形状も特殊であるため、容器を傾けて注ぎだす際の使い勝手についても様々な意見があった。

よって、これらの課題を解決するため、注ぎ口の位置を容器の側面だけでなく上部にも設置可能な生産機を開発し、鮮度保持容器の販路拡大を目指す。

### 実施内容

従来の生産機では、①ロール状にまかれたフィルムをほどこき、②側面に注ぎ口を取り付け、③折り曲げて筒状に成型し、④必要な長さで切り分けて袋状の容器を生産し、別途必要な液量を充填している。つまり、フィルムの幅の半分が容器の幅に、フィルムの長さが容器の高さになっていた。これに対して、幅の広いフィルムを用いて、フィルムの長さを短くすると、90 度回転させることで注ぎ口を上付きにすることが可能となることから、幅の広いフィルムを使用して製袋することができる生産機を開発する。

## 事業取組みの成果

新たに開発した生産機により注ぎ口の取付け位置を容器側面から上部に取り付けることが可能となった。そのため外観の突出部がなくなったことでデザインも汎用性が増し、さらに幅方向に対して約 20% のスリム化に成功した。また、大きく傾けないと液が出ないため、注ぎ口から対象までの距離が短くなり狙いを定めやすくなった。

図 1 現行品外観

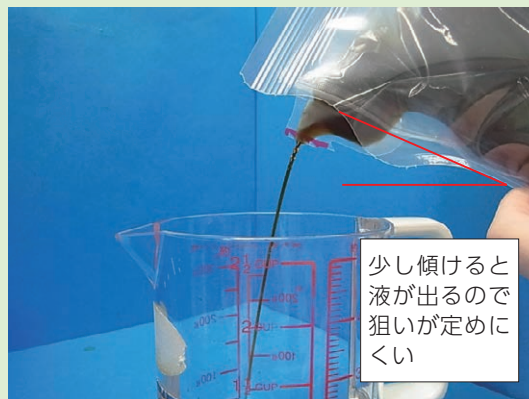
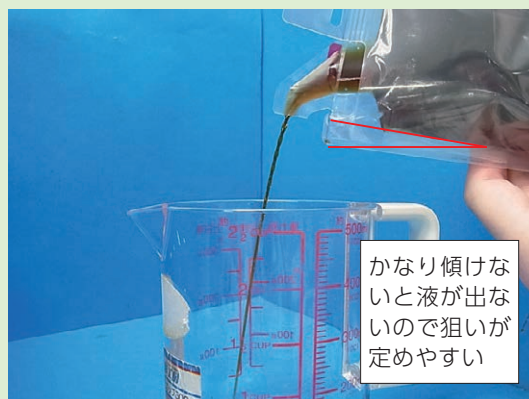


図 2 開発品外観



## その他（販売計画等）

弊社の鮮度保持容器は、PID(Pouch In Dispenser) という名称であり、液体を充填した袋を外容器に取り付ける方式である。

図 2 に示す容器では、充填袋と外容器が一体となったスタンディングパウチ式であるが、詰替え可能なハードケースにすることで充填袋の交換のみで済むこととなり、同容量のペットボトルに比べてプラスチック樹脂使用量が 1/7 程度となる（自社調べ）。さらに、その鮮度保持機能が食品業界だけでなく化粧品・医薬品業界においても、メーカー主導での経時変化調査において高評価をいただいている。よって現在それらの業界に対し、販路拡大を目指し営業活動に邁進している。